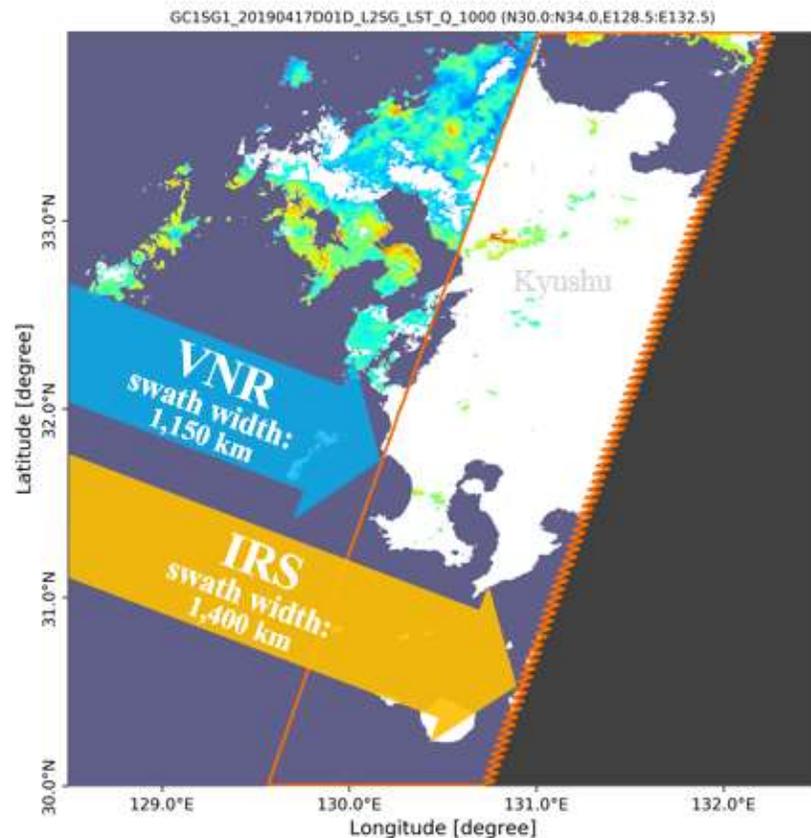


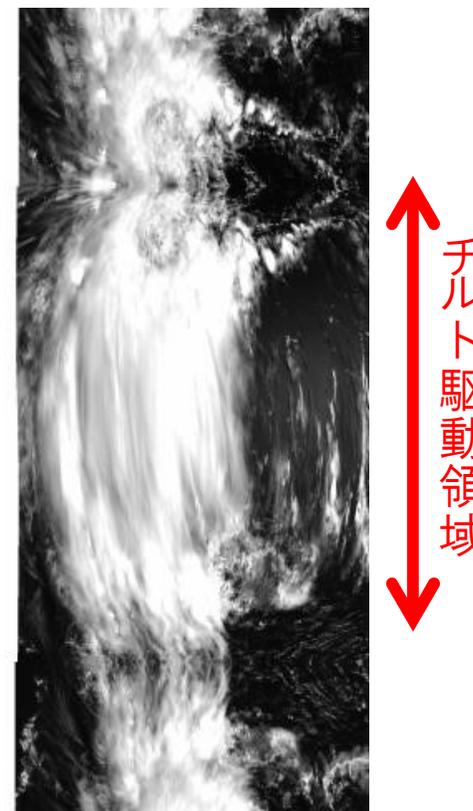
特異画像サンプル

◆センサ観測幅の違いによる不自然な線



SGLIは2種類のセンサで観測を行います。両センサのデータを処理に使用するプロダクトでは、観測領域の端でIRSのデータしか使用できない領域が発生します。このような領域では雲判別等の精度が異なるため、上図の枠内のような境界線が生じることがあります。

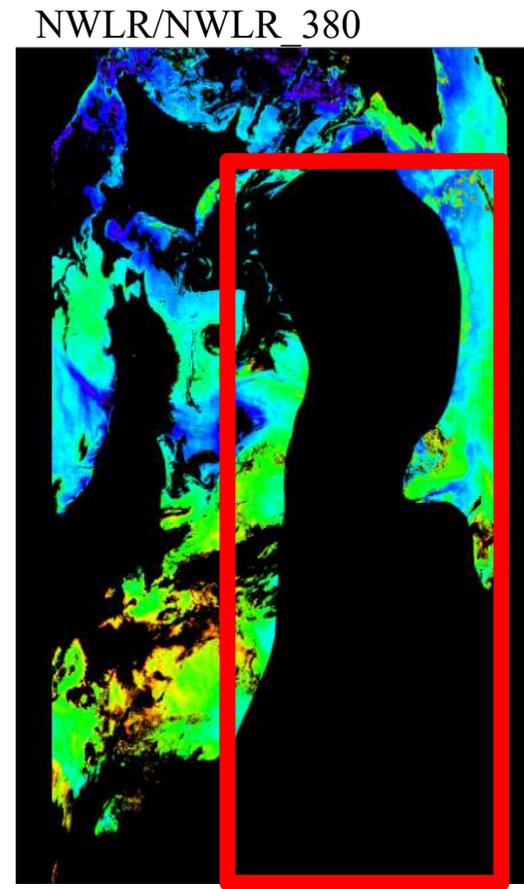
◆センサ観測方法によるデータ不連続



VNR-PLは太陽光反射の影響を避けるため、赤道付近で観測向きの変更(チルト駆動)を行います。チルト駆動中(シーン中心付近)には、上図のように不連続な領域や引き伸ばされたように見える領域が存在します。

特異画像サンプル

◆観測地点における太陽光の反射条件による欠損



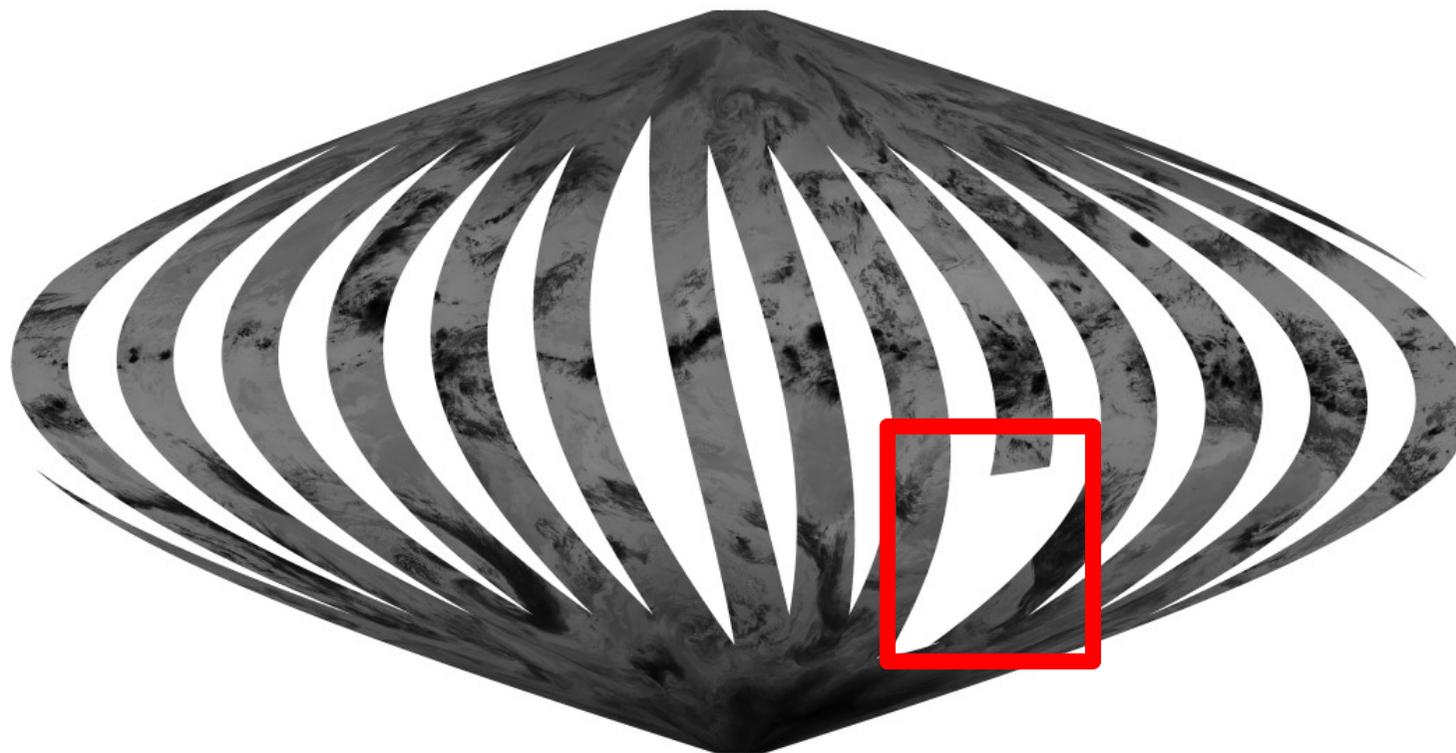
低緯度帯または中緯度帯の春から夏にかけて、GCOM-C/SGLIでは太陽光の強い海面反射（サングリント）が観測されます（左図赤枠内）。現在のNWLRとIWPRプロダクトではこの領域内の正確な物理量を算出することが困難なため、右図のように欠損として処理されます。

JASMES(https://www.eorc.jaxa.jp/cgi-bin/jasmes/sgli_nrt/index.cgi)では研究目的の試行版として2019年6月1日分より上記の欠損を改善したプロダクトを提供しております。（日本周辺のみ）

特異画像サンプル

◆校正運用による欠損

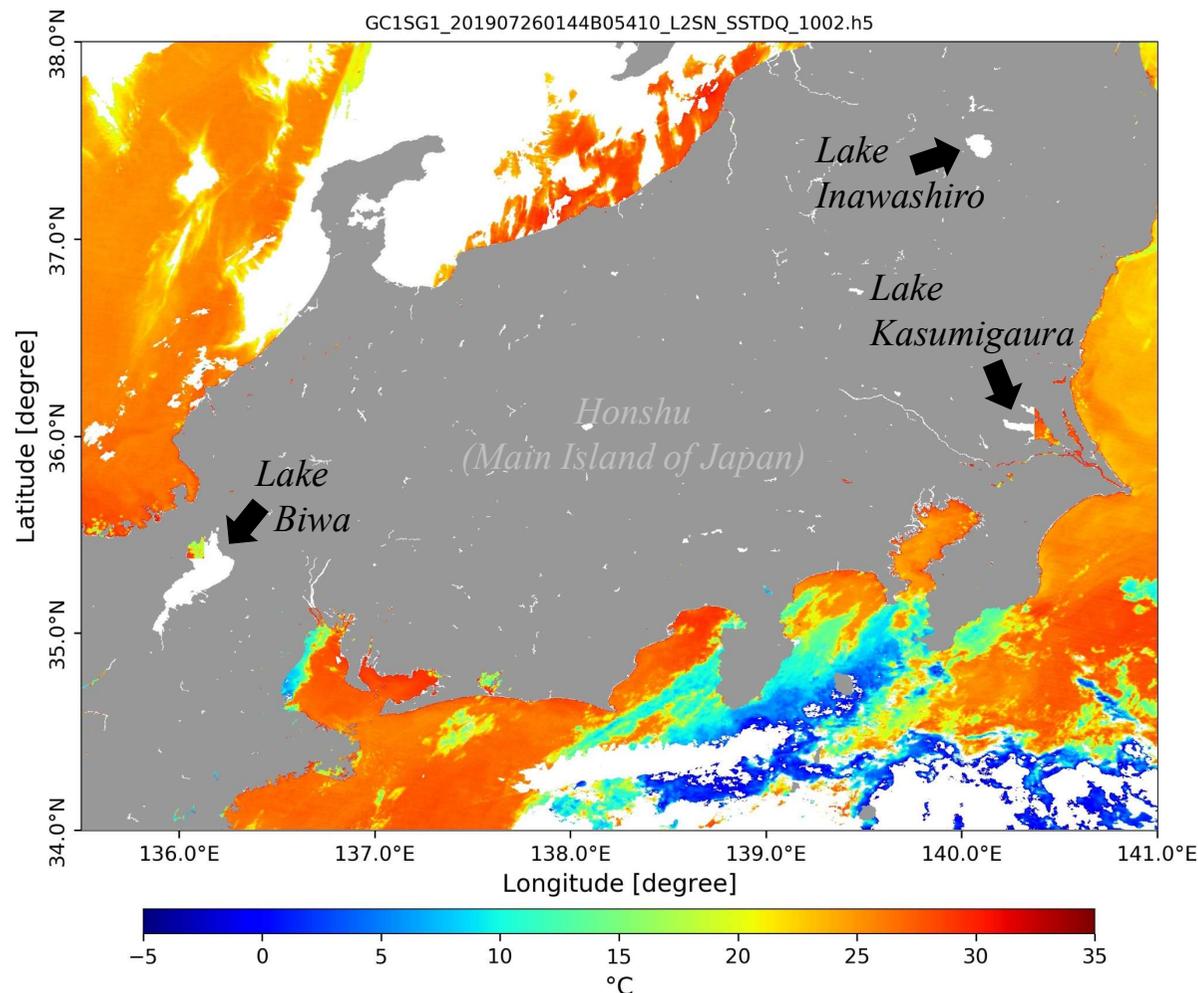
LTOAF/Lt_TI01



GCOM/SGLIプロダクトは、定期的実施する校正運用の期間においてデータ欠損が発生します。上記のような欠損は、校正に伴う計画通りの欠損であり、プロダクトの異常ではありません。校正運用の計画や実績は、イベント情報をご覧ください。

特異画像サンプル

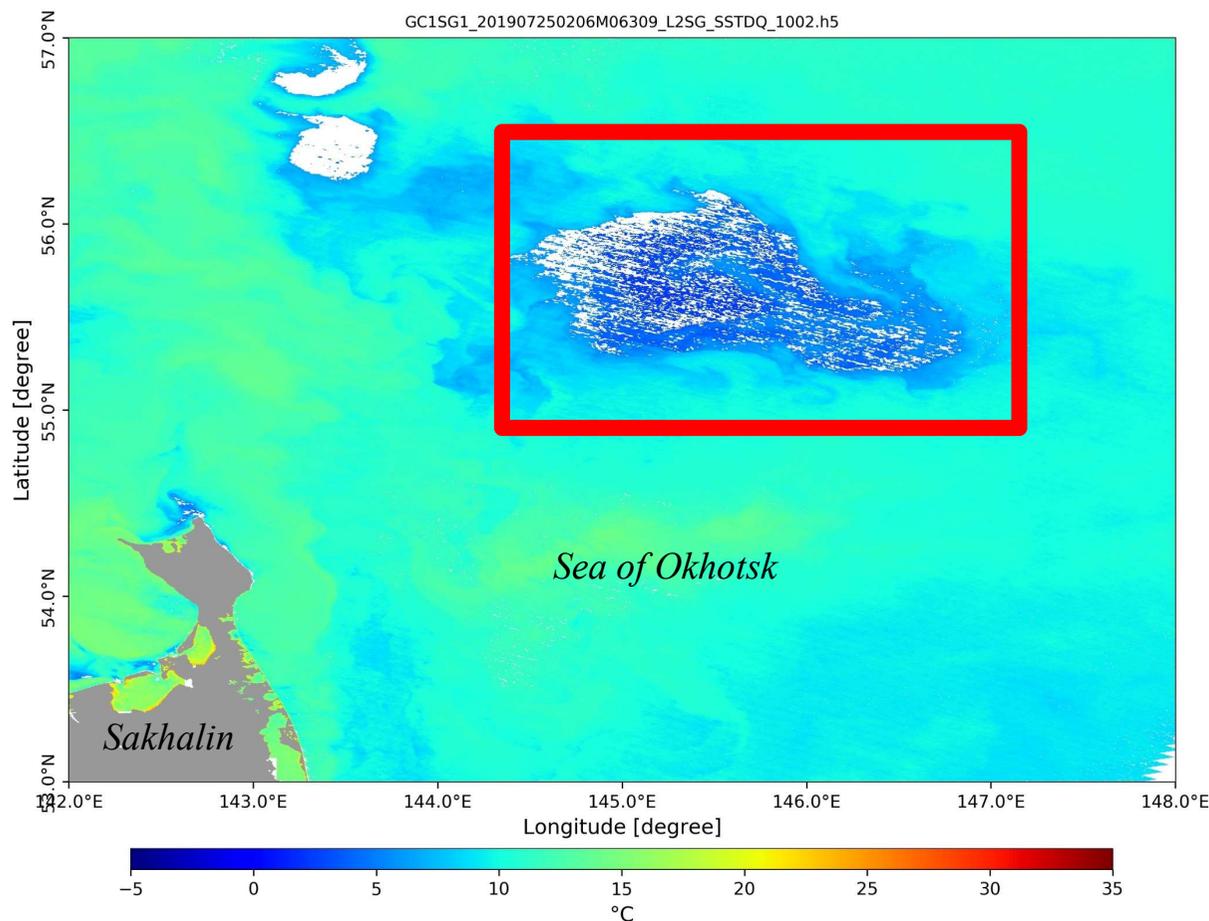
◆湖沼におけるSST欠損



GCOM/SGLIのSSTプロダクトは湖沼の一部で欠損が発生しており、今後のバージョンアップで修正予定です。JASMES(https://www.eorc.jaxa.jp/cgi-bin/jasmes/sgli_nrt/index.cgi)では研究目的のため、上記の欠損を修正したプロダクトを提供しております。(日本周辺のみ)

特異画像サンプル

◆SSTの横縞と欠損



GCOM/SGLIのSSTプロダクトでは、赤枠内のようなセンサスキャン方向の横縞と欠損が発生することがあります。今後のバージョンアップで修正予定です。